

# ミーティア仕上げ 施工の手引き

## 適用品番

ジヨリパット材 JQ-650 シリーズ

ジヨリパット材ノンフリーズ JQW-650 シリーズ

【初版】平成23年 6月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社  
化成品カンパニー

## <使用材料>

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-560	水性タイプアクリル系 1液型透明シーラー	16kg/缶	約 80~106 m <sup>2</sup> /缶
	<u>ジョリパットシーラー JS-410</u>	<u>1液溶剤系 アクリルゴム系シーラー</u>	<u>15kg/缶</u>	<u>約 75~100 m<sup>2</sup>/缶</u>
	<u>セーフシーラー JS-800</u>	<u>1液水系カチオンシーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約 80~106 m<sup>2</sup>/缶</u>
主材	<u>ジョリパット材 JQ-650 シリーズ</u> ( <u>ジョリパット材ノンフリーズ</u> <u>JQW-650 シリーズ</u> ) <u>標準色</u> <u>JQ(W)-650T□□□□</u> ( <u>□…数字</u> ) <u>特注色</u> <u>JQ(W)-650△○○○</u> ( <u>△…英字、○…数字</u> )	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ ペール缶	約 7 m <sup>2</sup> /缶
骨材	JF-1	寒水石(白竜)1 厘	20kg/袋入り	約 26 m <sup>2</sup>
	JF-5	寒水石(白竜)5 厘	20kg/袋入り	約 26 m <sup>2</sup>

※使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

※ジョリパット材ノンフリーズの使用目安温度は-6℃~10℃です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

※セーフシーラー JS-800 は 2kg×2 個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約 20~25 m<sup>2</sup>/セット)

## <主な施工道具>

- ・ リシンガン          口径 4~6 mm
- ・ タイルガン         口径 10 mm
- ・ 金ゴテ
- ・ コンプレッサー    3馬力 (2.2 kW) 以上 (1台使用の場合)

## <下地調整>

下地は、モルタル金ゴテ押さえ(平滑)として下さい。

下地によっては使用できないシーラーもありますので、詳しくは弊社最寄の支店までお問い合わせください。

## <ミーティア仕上げ施工方法>

### 1. シーラー塗布

配 合	JS-560	16kg
塗布量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

#### 1' JS-410の場合

<u>配 合</u>	<u>JS-410</u>	<u>15kg</u>
<u>塗布量</u>	<u>0.15~0.2kg/m<sup>2</sup></u>	
<u>施工方法</u>	<u>ローラー刷毛又はスプレーガン</u>	

#### 1" JS-800の場合

<u>配 合</u>	<u>JS-800</u>	<u>16kg</u>
<u>塗布量</u>	<u>0.15~0.2kg/m<sup>2</sup></u>	
<u>施工方法</u>	<u>ローラー刷毛又はスプレーガン</u>	

※下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。  
3時間以上48時間以内

### 2. 主材 下吹き

配 合	<u>JQ(W)-650シリーズ</u>	20kg
	清 水	2~3kg
塗布量	1.0kg/m <sup>2</sup>	
吹圧力	5~7kgf/cm <sup>2</sup> (0.5~0.7MPa)	
施工道具	リシンガン 口径φ4~6mm	

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

◎完全に乾燥したことを確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 上吹き

配 合	<u>JQ(W)-650シリズ</u>	20kg
	JF-5	8kg
	JF-1	8kg
	清 水	1~1.5kg

塗 布 量 約3.5kg/m<sup>2</sup>

吹 圧 力 3~5kgf/cm<sup>2</sup>(0.3~0.5MPa)

施工道具 タイルガン 口径φ10mm  
タイルガンにて小粒状に吹く。  
(詰めて吹かず、凹凸が目立つように吹く。)

追いかけ (5分以内)

4. パターン付け

・金コテを横方向に動かし、ランダムに押さえて部分的に凸部をつぶしながら平滑に押さえる。(図-1)

## <施工のポイント>

- ・上吹きは、玉が小粒に散らばるようにする。  
(玉を詰めて吹くと、パターン付の際、平滑な仕上りになってしまう為、注意する。)
- ・コテを横方向に動かし、ランダムに軽く押さえて部分的に平滑にする。この時、石が転がらない程度に押さえる。  
弱めの押さえから平滑部のバランスを確認して、押さえ加減を調整する。(図-1)
- ・玉吹きの塗布量は必ず所定量を守る。少ないと、平滑な面が出ないので注意する。  
少ないと感じたら、追いかけで重ね吹きし、再度、パターン付けする。

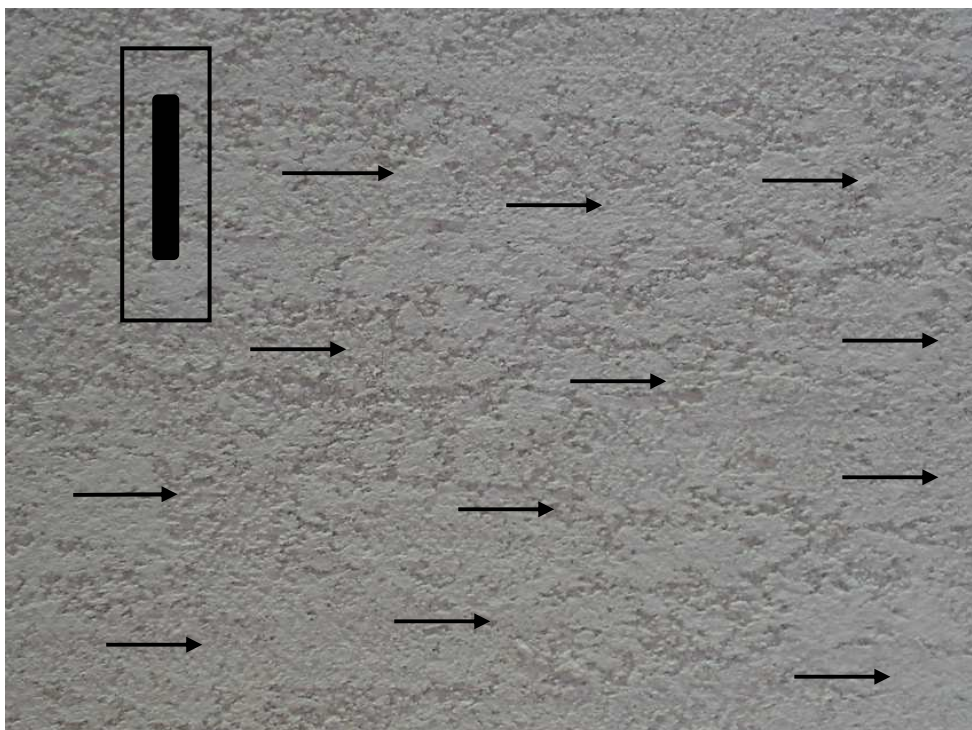


図-1

## <施工の注意事項>

- ・ 施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上の場合、施工を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、採暖などの養生を行い、気温5℃以上、湿度85%未満として下さい。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し吹きを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。  
また、事前に見本板でも仕上がり等の確認を行って下さい。
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。  
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等に配慮して下さい。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用して下さい。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用して下さい。
- ・ 施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水を、河川や側溝などへ放流しないで下さい。
- ・ 万一眼に入った場合や、蒸気を吸って気分が悪くなった場合、または誤って飲み込んだ場合には、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・ 廃材料及び空容器は産業廃棄物として、法令、地域の条例などに基づいて処理を行って下さい。
- ・ JQ-650 を使用される場合、気温5℃以下、湿度80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 冬季の5℃以下での施工の際は、ジョリパット/フリーズ JQW-650 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のため JS-410 をご使用下さい。  
しかしながら、-6℃以下、降雨、降雪などの条件下では JQW-650 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上